

定性的な目標

- ・革新的ながん診断装置・診断薬の研究開発拠点の強化
- ・医療機器や部品・部材を供給する地域企業等による産業クラスターの形成

背景

< 現計画の成果 > (H28~R2年度)

(1)がん診断装置・診断薬の開発

- ・H28→R2累計4件
- R1まで累計2件

(2)その他医療関連製品の開発

- ・H28→R2累計50件
- R1まで累計47件

(3)医療機器生産金額

- ・3,739億円(H28)→7,500億円(R2)
- R1 4,022億円

(4)製造業等の立地件数

- ・R1→R2累計130件
- R1まで 累計76件

< 課題 >

○革新的ながん診断装置・診断薬の研究開発の拠点化を進め、国際競争力を有する製品を迅速に世界へ提供することにより、がん医療を飛躍的に発展させる。

○製品を支える医療機器や部品・部材を供給する地域企業による産業クラスターの形成により、地域企業の活性化と雇用創出を目標とする。

○これまでの成果の社会実装の促進及び世界展開の加速化のため、山梨県内に立地する企業・研究機関等が保有し、静岡県に保有が見られない分野における高いものづくりの技術を静岡県の医療分野の製品開発・製造に活用することが必要。

新計画案の主な事業

○次世代診断技術開発事業

規(既) 金融

- ・マルチオミクス解析を用いた「プロジェクトHOPE」の研究成果を活用したゲノム医療の社会実装のための技術開発
- ・静岡がんセンターが持つ基盤技術を基に革新的ながん診断装置・診断薬等を開発
- (ゲノム医療の速やかな社会実装に際し、高い生産性・効率化を実現するための山梨県企業が保有する高度な半導体生産管理技術を活用する等、山梨県甲府市・南アルプス市を区域に追加)

○医療機器等開発・参入支援事業

規(既) 金融

- ・研究開発から、人材育成、薬事申請、販路開拓までの一貫した支援(ものづくりプラットフォーム)を充実・強化し、地域企業の優れたものづくりの技術力を活用した医療機器の製品化を推進
- ・静岡がんセンター隣接地のファルマバレープロジェクト拠点施設及び山梨県における拠点であるメディカル・デバイス・コリドー推進センターを中心に拠点施設入居企業、両県地域企業等との研究テーマのマッチングを促進し、山梨県内に立地する企業が保有し、静岡県に保有が見られないロボット、半導体、工作機械等を活用し、医療用工作機器の研究開発による医療機器製造工程のライン化や、特殊加工による製品の高付加価値化により競争力を有する医療機器の開発を推進。
- ・山梨県内企業の有するネットワークなどを活用し、海外を含めた販路拡大を推進
- (静岡県企業に保有が見られない、ロボット、半導体、工作機械等の高い技術力を有する山梨県企業等が立地する山梨県甲府市、富士吉田市、大月市、中央市、昭和町及び富士河口湖町を区域に追加)

規(既)

: 規制の特例(既存)(現行法で実現可能なものを含む)

規(新)

: 新たな規制の特例の提案(想定)

税制

: 税制支援

財政

: 財政支援

金融

: 金融支援

新計画案の評価指標・数値目標

(目標設定期間: 令和3~令和7年度)

(1)がん診断装置・診断薬の開発

累計 5件

(1)-(2)内、両県共同開発件数 1件

(2)その他医療関連製品の開発

累計 65件

(2)-(2)内、両県共同開発件数 5件

(3)医療分野に活用可能な山梨県企業の高い技術力について、静岡県企業がファルマバレーセンター及びメディカル・デバイス・コリドー推進センターに相談した件数

年 100件

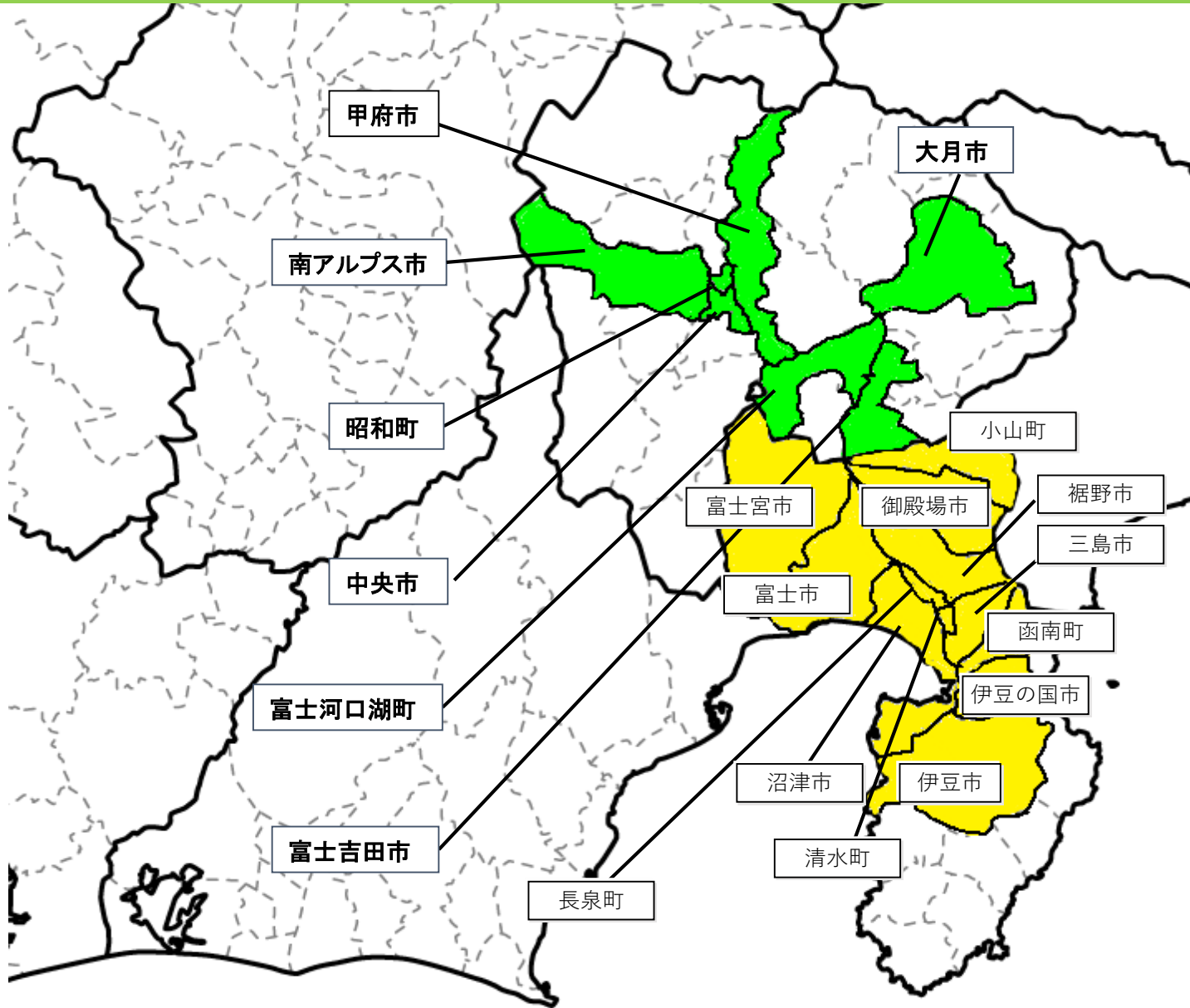
(4)医療機器生産金額(静岡県)

・4,022億円(R1)→7,500億円(R7)

(5)製造業等の立地件数(静岡県)

累計 325件

# 山梨県内の市町区域の新規指定に伴うふじのくに先端医療総合特区区域の拡大



上記地図のうち、黄色のエリアは、既に指定を受けている静岡県を、  
緑色のエリアは、新たに区域を追加指定する予定の山梨県を